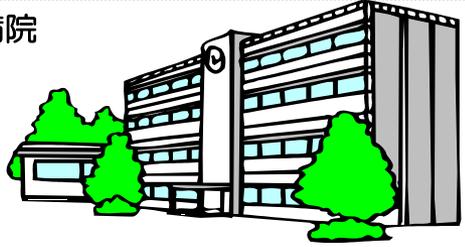


# ICT在宅医療・介護推進システムイメージ図

利用するネットワークは誰もが加入可能なインターネット網を活用する。関係する端末には他の端末からの接続を排除する方式(SIP)を使う。

## 中核病院



## カンファレンス



登録されている端末同士で退院前会議(カンファレンス)を行う。遠隔地に居る医師などと会議ができる。

## 介護事業所 見守りNPOなど



## 在宅医療・介護コミュニティー



TV電話のコールボタンから発信

TV電話コールボタンの受信

センサー端末コールボタンからメール通知

対象患者からの呼び出しで関係者へメール



病院・診療所・介護事業所・見守りNPOグループ

## システム管理



SIPサーバはRFCに記述される方式で関係する端末やパソコンを常に監視し。登録端末以外は接続の排除を行う。また端末を呼び出す場合瞬時に呼出コードが生成されその番号のみで接続される。接続、利用状況や端末画面で監視し通信ログに記録される。

SIPサーバ

## 診療所



視診・聴診・指導時に利用する病歴やカルテ等の情報は映像として患者に届く。診察室にある情報を共有出来る

視診・聴診・指導記録(動画、聴診音)は患者ナンバーなどと同期され記録される。

## カンファレンス

## 患者

## 視診・聴診・指導



視診・聴診・指導の情報共有と聴診(電子聴診器)情報が調整されリアルタイムに先生に届けられる

センサー端末から温度照度がナースや管理室(見守り支援者など)へ届けられる。

TV電話端末に付けられたコールボタンにより呼び出しを行う。

センサー端末から呼び出しボタンにより呼び出しをナースや関係者に行う。

情報などの流れ

医療・介護コミュニティー グループ毎の映像、音声、メールの会議

